

キラキラ通信



郡山養護学校 地域支援部だより 第2号 平成28年12月13日(火)発行

地域支援部は、校内及び地域の幼児児童生徒とその関係者(保護者、教員等)からの相談に応じて、一緒に考えたり、関係機関と連携をしたりする支援を行っています。

キラキラ通信第2号では、今年度、地域支援部が行なってきた様々な支援や活動のようすについて紹介します。

インクルーシブ教育システム推進事業について

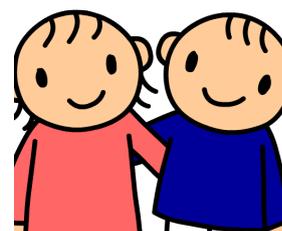
福島県では、「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するために、市町村教育委員会と連携を図り、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、早期から一貫した支援が受けられるよう地域の支援体制整備を行っています。そのため本校地域支援部では、地域の幼稚園、小・中学校・高等学校等の教員からの要請に応じて、相談支援や研修支援を実施しています。今回は、今年度実施した相談支援の一部について紹介します。

地区・校(園)名	相談内容	支援内容
県北地区 A幼稚園	体の不自由な幼児の日常生活面の介助の仕方について	・園内の支援体制作り ・基礎的環境整備及び合理的配慮について
県中地区 B小学校	生活全般において発達に遅れが見られる児童への具体的な支援の仕方について	・実態把握や支援の仕方と授業作り ・基礎的環境整備及び合理的配慮について
県北地区 C中学校	病気の進行に伴う身体の困難さを持つ生徒の担任への支援と、進路指導に関する情報提供について	・基礎的環境整備及び合理的配慮について ・特別支援教育についての情報提供 ・実態把握や支援の仕方と授業作り
県南地区 D高等学校	肢体不自由のある生徒への支援の仕方について	・特別支援教育についての情報提供 ・基礎的環境整備及び合理的配慮について

～平成28年度 「インクルーシブ教育システム推進事業」で出かけた支援実施数～

(H28. 12月現在)

☆ 幼稚園・保育所	6件	(県北地区1件、県中地区4件、県南地区1件)
☆ 小学校	7件	(県北地区2件、県中地区5件)
☆ 中学校	2件	(県北地区1件、県南地区1件)
☆ 高等学校	1件	(県南地区1件)
☆ その他	2件	(教育委員会1件、学校保健会1件)
合計	18件	



※県中地区だけでなく、県北地区や県南地区にも要請に応じて出かけて支援を行っています。



取り組みのようす



盲学校訪問相談支援

本校には、見え方に困難さを感じているお子さんが在籍しています。そのため本校では盲学校と連携し、お子さんが生活や学習の場面で感じている困難さを軽減できるように、盲学校教諭からアドバイスを頂く機会を設けています。

今年度は、6月と11月の2度にわたり2名の教諭に来校して頂きました。そして、学習の様子を見て頂いたり、見え方の検査をしてもらったりして、お子さんの見え方の状態や授業の方法、学習環境等に対する具体的なアドバイスをたくさん頂きました。

キラキラ保護者教室

第3回 9月6日(火)

「どうしていますか？おうちのこと、学校のこと ～先輩お母さんとお話会～」

小学部3年生のお母さんの橋本さおりさん、高等部2年生のお母さんの齋藤貞子さんとお話をする会を開催しました。学校の生活や学習、学校行事、医療的ケア、放課後の過ごし方などについての話で盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。



第4回 11月16日(水)

「ストレッチや体操の体験教室 ～親子でのびのび、きもちよ～くストレッチ～」

本校教諭が講師を務め、お母さん、お子さんと一緒に身体を動かしたり、足首などを弛めたりするストレッチ教室が行われました。当日は、たくさんの方にきもちよ～い時間を過ごしていただきました。



キラキラ教室

今年も7月26日(火)と8月3日(水)の2回にわたり、未就学のお子さんとその保護者の方を対象とした、親と子の遊びの体験教室「キラキラ教室」を実施しました。

トランポリンやボールプールなどでからだ全体を使ったダイナミックな遊びやスライム遊び、おもちゃ作りなどが体験できました。好きな遊びを自由にたくさん楽しむお子さんの姿が見られました。また、参加したみんなと一緒に楽しむ「あつまれあつまれタイム」では、「だっこしてぎゅっ」としての親子のふれあい遊びや「夢をかなえてドラえもん」の曲に合わせたバルーン遊びを体験しました。最初はドキドキ緊張していたお子さんたちも、次第に慣れて、ニコニコ笑顔をたくさん見せてくれました。

